ベネズエラ情勢（内政・外交：令和３年１０月）

１　内政

（１）　新型コロナウイルス感染症対策関連

	新規症例数	累計症例数	新規死者数	累計死者数	累計治癒数
1日	1,400名	370,368名	14名	4,483名	352,308名
2日	1,638名	372,006名	12名	4,495名	353,592名
3日	1,326名	373,332名	15名	4,510名	354,820名
4日	1,527名	374,859名	16名	4,526名	356,067名
5日	1,452名	376,311名	13名	4,539名	357,339名
6日	1,522名	377,833名	19名	4,558名	358,578名
7日	1,519名	379,352名	18名	4,576名	359,735名
8日	1,504名	380,856名	16名	4,592名	360,847名
9日	1,410名	382,266名	14名	4,606名	362,006名
10日	1,110名	383,376名	11名	4,617名	363,122名
11日	1,292名	384,668名	17名	4,634名	364,455名
12日	1,284名	385,952名	18名	4,652名	365,941名
13日	1,441名	387,393名	15名	4,667名	367,450名
14日	1,350名	388,743名	14名	4,681名	368,854名
15日	1,302名	390,045名	12名	4,693名	370,086名
16日	1,368名	391,413名	14名	4,707名	371,501名
17日	1,349名	392,762名	12名	4,719名	372,863名
18日	1,299名	394,061名	15名	4,734名	374,166名
19日	1,162名	395,223名	14名	4,748名	375,597名
20日	1,254名	396,477名	15名	4,763名	376,877名
21日	893名	397,370名	12名	4,775名	378,087名
22日	1,241名	398,611名	15名	4,790名	379,403名
23日	1,056名	399,667名	10名	4,800名	380,721名
24日	844名	400,511名	10名	4,810名	382,004名
25日	748名	401,259名	12名	4,822名	383,113名
26日	1,148名	402,407名	14名	4,836名	384,305名
27日	911名	403,318名	12名	4,848名	385,614名
28日	1,069名	404,387名	12名	4,860名	386,910名
29日	1,058名	405,445名	14名	4,874名	387,988名
30日	794名	406,239名	10名	4,884名	389,338名
31日	912名	407,151名	7名	4,891名	390,657名

（ア）　３日、マドゥーロ大統領は、１０月２５日より、対面式授業を再開する旨発表した。

（イ）　３日、マドゥーロ大統領は、現在、ベネズエラは感染第三波に直面しており、１０万人あたりの感染者数が、３０人を超えている州においては、１１月、１２月に外出規制緩和措置を講じない旨述べた。

（ウ）　３日、マドゥーロ大統領は、キューバ製新型コロナウイルス感染症ワクチン「アブダラ」が９０万ドースベネズエラに到着した旨発表した。

（エ）　３日、マドゥーロ大統領は、新型コロナウイルス感染症の致死率を５０％減少させるドイツ製治療薬 Molnupiravir を獲得するよう命じた旨述べた。

（オ）　３日、マドゥーロ大統領は、１８歳以上のベネズエラ国民は、事前予約なしでワクチン接種を受けることができる旨述べた。

（カ）　３日、マドゥーロ大統領は、「７＋７」政策として、翌４日～１０日にかけて、全土において、外出規制強化措置を講ずる旨発表した。

（キ）　４日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、１ヶ月前から、タチラ州のコロンビア国境付近において、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を実施していた旨述べた。

（ク）　８日、マドゥーロ大統領は、１０月１８日以降、公共施設の入場のために緑（ワクチン接種済者）、黄（ワクチン未接種であるが健康である者）、赤（ワクチン未接種であり、直近２１日間において新型コロナウイルス感染者）の３色に分けた信号システムの採用を準備している旨述べた。

（ケ）　８日、マドゥーロ大統領は、９日、ＣＯＶＡＸを通じて、２６０万本の新型コロナウイルス感染症ワクチンが当地に到着する旨述べた。

（コ）　８日、マドゥーロ大統領は、５０%の国民に対するワクチン接種が完了した旨述べた。

（サ）　１０日、アルバラド保健大臣は、ＣＯＶＡＸを通じて、約２５０万本の新型コロナウイルス感染症ワクチンが当地に到着した旨発表した。

（シ）　１０日、マドゥーロ大統領は、「７＋７」政策として、翌１１日～１７日にかけて、全土において、外出規制緩和措置を講ずる旨発表した。

（ス）　１１日、副大統領府は、７９万４７００ドースのロシア製新型コロナウイルス感染症ワクチン Sputnik V がベネズエラに到着した旨発表した。

（セ）　１７日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、１１月１日より、商業施設における新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために、信号システム（緑（ワクチン接種済者）、黄（ワクチン未接種であるが健康である者）、赤（ワクチン未接種であり、直近２１日間において新型コロナウイルス感染者）の３色に分けるシステム）を施行する旨述べた。

（ソ）　１７日、マドゥーロ大統領は、２０２２年１月以降、ベネズエラに、ブースター接種用のワクチンが到着する予定である旨述べた。

（タ）　１７日、マドゥーロ大統領は、「７＋７」政策として、翌１８日～２４日にかけて、全土において、外出規制強化措置を講ずる旨発表した。

（チ）　１７日、マドゥーロ大統領は、１１月１日から１２月３１日まで、外出規制緩和措置を講ずる旨述べた。

（ツ）　１８日、Sputnik V の公式ツイッターは、４３万ドースのワクチンがベネズエラに到着した旨発表した。

（テ）　２１日、マドゥーロ大統領は、１２月までに１，６００万（回分）のキューバ製新型コロナウイルス感染症ワクチン「アブダラ」がベネズエラに到着すると述べた。

（ト）　２１日、マドゥーロ大統領は、２５日より、１２歳以上の子供に対する新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種を開始する旨発表した。

（ナ）　２１日、マドゥーロ大統領は、同日までに、約５６％の国民に対するワクチン接種が完了したと述べた。

（ニ）　２１日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、国連貿易開発会議（ＵＮＣＴＡＤ）関連会合において、新型コロナウイルス感染症ワクチンの不公平な分配を非難した。

（ヌ）　２１日、Sputnik Vの公式ツイッターは、４６万３千ドースのワクチンがベネズエラに到着した旨発表した。

（ネ）　２３日、Sputnik Vの公式ツイッターは、７１万３千ドースのワクチンがベネズエラに到着した旨発表した。

（ノ）　２４日、マドゥーロ大統領は、デルシー・ロドリゲス副大統領に対し、薬局、ショッピングセンター、高校等にも、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種会場を設置する計画を提出するよう指示した。

（ハ）　２４日、マドゥーロ大統領は、「７＋７」政策として、翌２５日～３１日にかけて、全土において、外出規制緩和措置を講ずる旨発表した。

（ヒ）　２４日、マドゥーロ大統領は、１１月及び１２月にかけて、外出規制緩和措置を講ずる旨強調した。

（フ）　２５日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、高校５０００校に、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種会場を設置した旨発表した。

（ヘ）　２５日、保健省は、同日より、１２歳以上の子供に対する新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種を開始した旨発表した。

（ホ）　２５日、メリク・バグダサロフ駐ベネズエラ・ロシア大使は、ツイッターを通じて、約７０万ドースのロシア製新型コロナウイルス感染症ワクチンがベネズエラに到着した旨発表した。

（マ）　２９日、バルボサ汎米保健機構（ＰＡＨＯ）副事務局長は、ベネズエラが、数週間以内に、約３００万ドースの新型コロナウイルス感染症ワクチンを受領する予定である旨述べた。

（ミ）　３１日、マドゥーロ大統領は、近日中に、小児向けの新型コロナウイルス感染症ワクチンがベネズエラに到着する予定である旨述べた。

（ム）　３１日、デルシー・ロドリゲス副大統領に対し、２歳以上の子供に対するワクチン接種プロセスの開始を発表するように指示した。

（メ）　３１日、マドゥーロ大統領は、約６７％のベネズエラ国民が新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を完了した旨述べた。

（モ）　３１日、マドゥーロ大統領は、翌１日～１２月３１日まで、全土において、外出規制緩和措置を講ずる旨発表した。

（２）　与野党間交渉

１６日、与野党間交渉における体制側代表団は、同日付コミュニケを通じて、アレックス・サーブ氏の米国への身柄引渡しを受けて、与野党間交渉への参加の一時停止を発表した。また、同発表を受けて、統一プラットフォーム代表団は、１７日付コミュニケを通じて、体制側に対し、メキシコにおけるセッションの可及的速やかな再開を要請した。

（３）　地方選挙

（ア）　１０日、各地で１１月２１日実施予定の地方選挙に向けた模擬選挙が実施された。

（イ）　２７日、全国選挙評議会（ＣＮＥ）は、選挙専門家ミッションのベネズエラへの派遣について、カーターセンターとＭＯＵ（２５日付）を締結した旨発表した。

（ウ）　２８日より、選挙運動期間が開始。同日、サントスＥＵ選挙監視団団長がベネズエラに到着し、同日より、

同監視団団員による全国２２州（アマゾナス州を除く）における監視活動が開始した。

（４） その他

（ア） １６日、２０１７年より汚職の容疑をかけられ、本年４月より自宅軟禁措置が付与されていたCitgo元幹部６名が再度収監された。

２　外交

（１）　プラセンシア外相のトルコ訪問

（ア）　８日、プラセンシア外相は、トルコとベネズエラの二国間関係の強化を目的にトルコを訪問した。

（イ）　９日、プラセンシア外相は、Pakdemirli トルコ農業・森林大臣と、農業分野における既存の協力、並びに、両国国民の食糧安全保障に向けた新たな協定案に関し、会合を実施した。

（ウ）　９日、プラセンシア外相は、Mus トルコ商業大臣と、両国間の貿易の拡大に関連するテーマに関し、会合を実施した。

（エ）　９日、プラセンシア外相とチャヴシュオール・トルコ外相は、様々な分野における二国間協力に関する合意に署名した。

（オ）　９日、プラセンシア外相とチャヴシュオール・トルコ外相は、共同記者会見を開催し、良好な二国関係の維持、並びに、３つの協力に関する合意の署名に言及した。

（２）　プラセンシア外相の非同盟諸国首脳会議６０周年会議への参加（セルビア）

（ア）　１０日、プラセンシア外相は、非同盟諸国首脳会議６０周年会議への参加を目的にセルビアに到着した（トルコ外相専用機利用）。

（イ）　１１日、プラセンシア外相は、非同盟諸国首脳会議に参加し、非同盟諸国の団結及び結束の強化、並びに、強制的且つ一方的措置に対する拒絶を強調するとともに、国連憲章の擁護を要請した。

（ウ）　１１日、プラセンシア外相は、ルトノ・インドネシア外相と会合を実施し、両外相は、インドネシア・ベネズエラ政治協議メカニズムの設立に向けたＭＯＵに署名した。

（エ）　１１日、プラセンシア外相は、オスマン・エリトリア外相と、二国間の協力関係の強化に関し、会合を実施した。

（オ）　１１日、プラセンシア外相は、ムバレ・ブベヤ・ガボン外相と、二国間の協力アジェンダの促進に関し、会合を実施した。

（カ）　１１日、プラセンシア外相は、Sheikh Khakifa bin Ali bin Issa Al Harthy オマーン外務省副事務総長と二国間の戦略的協力及び様々な関心事項に関し、会合を実施した。

（キ）　１１日、プラセンシア外相は、フレデリック・ムシーワ・マカムレ・シャワ・ジンバブエ外務・国際貿易大臣と、二国間アジェンダのレビューに関し、会合を実施した。

（ク）　１１日、プラセンシア外相は、ファイサル・ビン・ファルハーン・アール・サウード・サウジアラビア外相と、二国間の協力関係の再確認に関し、会合を実施した。

（ケ）　１１日、プラセンシア外相は、Vershinin ロシア外務副大臣と、ロシア・ベネズエラ政府間ハイレベル委員会（ＣＩＡＮ）に関し、会合を実施した。

（コ）　１２日、プラセンシア外相は、オドンゴ・ウガンダ外相と、二国間の協力関係の深化に関し、会合を実施した。

（サ）　１２日、プラセンシア外相は、Mazenga コンゴ（民）地域統合大臣と、二国間の協力関係のレビュー及び強化に関し、会合を実施した。

（シ）　１２日、プラセンシア外相は、テンジュア・サントメ・プリンシペ外務・協力・共同体相と、二国間の協力及び友情関係の強化に関し、会合を実施した。

（ス）　１２日、プラセンシア外相は、オヨノ赤道ギニア外相と、二国間関係の強化に関し、会合を実施した。

（セ）　１２日、プラセンシア外相は、セラコビッチ・セルビア外相と、会合を実施し、両外相は、二国間関係の強化に向けた協力に関する合意に署名した。

（ソ）　１２日、プラセンシア外相は、Shahrul Ikram Yaakob マレーシア外務次官と、二国間関係の強化に関し、会合を実施した。

（３）　プラセンシア外相のイラン訪問

（ア）　１８日、プラセンシア外相は、ライースィ・イラン大統領と、両国の外交関係の深化、マドゥーロ大統領のイラン訪問のためのアジェンダの設定の必要性、多国間主義の強化、並びに、米国の干渉と介入主義に対する拒絶に関し、会合を実施した。

（イ）　１８日、プラセンシア外相は、アミール・アブドラヒアン・イラン外相と、外交関係の深化、多国間主義の強化、並びに、２０２１年末までのイランとベネズエラのハイレベル合同委員会の再開に関し、会合を実施した。

（ウ）　１８日、プラセンシア外相は、Rezaei イラン経済問題担当副大統領と、鉱業、エネルギー及び農業分野におけるアジェンダのレビュー、並びに、家電製品と石油化学製品分野の進捗に関し、会合を実施した。

（エ）　１８日、プラセンシア外相は、Owji イラン石油大臣と、両国の歴史的なエネルギー関係及びその将来への可能性に関し、会合を実施した。

（オ）　１８日、プラセンシア外相は、ガリバーフ・イラン議会議長と、１１月２１日に実施予定の（ベネズエラの地方）選挙、及び同選挙プロセスの同伴者としてのイランの参加に関し、会合を実施した。

（４）　カブリサス・キューバ副首相の当地訪問

（ア）　１９日、ヒメネス科学技術大臣及びアルバラド保健大臣は、カブリサス・キューバ副首相と、科学技術及び保健分野における両国間の協力のレビューに関し、会合を実施した。

（イ）　１９日、タジェリア食糧大臣及びカストロ農業生産性・土地大臣は、カブリサス・キューバ副首相と、穀物、豆類、根菜類の獲得を含む家畜、魚の養殖及び農業分野における最近署名された合意に関し、会合を実施した。

（ウ）　２０日、ヒメネス科学技術大臣及びリ・カウシ・カリブ地域担当外務次官は、カブリサス・キューバ副首相と、通信分野におけるプロジェクトに関するフォローアップ等に関し、会合を実施した。

（エ）　２１日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、カブリサス・キューバ副首相と、両国間の様々な関心事項に対する相互支援の強化に関し、会合を実施した。

（オ）　２１日、マドゥーロ大統領は、カブリサス・キューバ副首相と、キューバ・ベネズエラ包括協力協定の様々なアジェンダのレビューに関し、会合を実施した。

（５）　その他

（ア）　１日、プラセンシア外相は、第７６回国連総会出席の機会に実施した活動に関し、完全な成功であったと評価した。

（イ）　１日、マドゥーロ大統領は、外務省声明を通じて、中華人民共和国建国７２周年に祝意を表明した。

（ウ）　１日、プラセンシア外相及びロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、Li 駐ベネズエラ中国大使と、中華人民共和国建国７２周年に祝意を表明する献花式を行った。

（エ）　１日、プラセンシア外相は、Li 駐ベネズエラ中国大使と、貧困の根絶に関し、テレビ電話方式にて会合を実施した。

（オ）　１日、マドゥーロ大統領は、外務省声明を通じて、ベネズエラとインドの外交関係樹立６２周年に祝意を表明した。

（カ）　１日、マドゥーロ大統領は、外務省声明を通じて、ナイジェリアの独立６１周年に祝意を表明した。

（キ）　１日、プラセンシア外相は、Sung Gil 駐ベネズエラ北朝鮮大使と、協力及び友情の関係の強化に関し、会合を実施した。

（ク）　１日、プラセンシア外相は、「７７か国グループ＋中国」外相会合に出席し、強制的且つ一方的措置への非難に対する同グループの支持に謝意を表明した。

（ケ）　１日、プラセンシア外相は、Mutevellioglu 駐ベネズエラ・トルコ大使と兄弟愛及び協力関係の強化に関し、会合を実施した。

（コ）　２日、マドゥーロ大統領は、外務省声明を通じて、マハトマ・ガンジー生誕１５２周年に祝意を表明した。

（サ）　２日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、Singh 駐ベネズエラ・インド大使と、マハトマ・ガンジー生誕１５２周年に祝意を表明する献花式を行った。

（シ）　３日、マドゥーロ大統領は、外務省声明を通じて、習近平・中国国家主席が、国連総会一般討論演説において提案した新型コロナウイルス感染症のパンデミックにおいて、世界中の国の発展のために根本的な要素の強化に向けた前進を歓迎・支持する旨述べた。

（ス）　４日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、マドゥーロ大統領の指示により、５日より、厳格な新型コロナウイルス感染症のパンデミック予防のためのプロトコルの下、コロンビアとベネズエラ間の商用通行を許可する旨発表した。

（セ）　４日、グアイド暫定大統領は、ドゥケ・コロンビア大統領と、コロンビア・ベネズエラ国境の管理された開放の必要性に関し、電話会談を実施した。

（ソ）　４日付官報において、モリーナ避難民委員会（Conare）委員長の多国間問題担当次官への任命、並びに、ロドリゲス多国間問題担当次官の欧州担当次官への任命、ヒル欧州担当次官のベネズエラＥＵ代表部臨時代理大使への任命が掲載された。

（タ）　５日、２００名のベネズエラ国民は、ベネズエラ政府が、チリにおいて発生したベネズエラ移民に対する差別及び暴力行為に対し、ベネズエラ移民の保護を目的に実施した祖国帰還計画（Plan Vuelta a la Patria）を通じて、チリよりベネズエラに帰還した。

（チ）　５日、モリーナ避難民委員会（Conare）委員長は、国連難民高等弁務官事務所計画執行委員会に、テレビ電話方式で参加し、人身取引を非難した。

（ツ）　６日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、国連貿易開発会議において、演説を実施し、現在の世界秩序の不均衡、一方的且つ強制的な措置、並びに、国際通貨基金の特別引出権の不当な分配を非難した。

（テ）　６日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、Lebbos 駐ベネズエラ・レバノン大使と、二国間の協力関係の強化に向けたアジェンダのレビューに関し、会合を実施した。

（ト）　７日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、Fetais 駐ベネズエラ・カタール大使と、二国間アジェンダのレビューに関し、会合を実施した。

（ナ）　８日、ロドリゲス欧州担当外務次官は、欧州各国に所在するベネズエラ大使館の大使等と、二国間関係に

おける様々な戦略的テーマに関し、テレビ電話方式にて会合を実施した。

（ニ）　８日、ビジャロエル住宅大臣は、チュニジアを訪問し、Doukh・チュニジア住宅・インフラ大臣と、住宅に関し、会合を実施した。

（ヌ）　８日、ベネズエラ政府は、外務省声明を通じて、ボレルＥＵ上級代表による１１月２１日実施予定の地方選挙プロセスが正統か非正統かを決めるのは、同選挙監視団が公表する報告書であろうという旨の発言を断固として拒絶する旨表明した。

（ネ）　１１日、モンカダ国連常駐代表は、国連安保理に対して、ベネズエラ政府に対する軍事攻撃を正当化するためのコロンビア政府及び米国政府の戦略を非難した。

（ノ）　１３日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、ベネズエラが、国際刑事裁判所に対し、ドゥケ・コロンビア大統領によるベネズエラ移民に対する迫害の罪を非難する予定である旨述べた。

（ハ）　１３日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、ベネズエラ政府が、国連機関に対し、コロンビアにおけるベネズエラ移民の殺害に関する調査の開始を要請した旨発表した。

（ヒ）　１４日、プラセンシア外相は、Sabah Al Khaled Al Hamad Al Sabah カタール首相と、両政府の外交関係の拡大の意図の再確認に関し、会合を実施した。

（フ）　１４日、プラセンシア外相は、Marzouq Al-Ghanim クウェート国民議会報道官と、二国間関係の強化に関し、会合を実施した。

（ヘ）　１５日、ベネズエラ外務省は、同日付プレスリリースを通じて、国連が１１月２１日に実施予定の地方選挙に選挙専門家パネルを派遣する旨発表した。

（ホ）　１５日、ベネズエラは、第１５回ロシア・ベネズエラ政府間ハイレベル委員会（ＣＩＡＮ）において、ロシアと新たな９つの合意に署名した。

（マ）　１５日、マドゥーロ大統領は、アレクサンダー・ジャネス氏を新駐ペルー・ベネズエラ大使として任命する旨発表した。

（ミ）　１５日、プラセンシア外相は、バチェレ国連人権高等弁務官と会合を実施し、同会合において、ベネズエラ国外におけるベネズエラ人の人権の保護の必要性を提起した。

（ム）　１６日、プラセンシア外相は、グリンスパン国連貿易開発会議事務局長と、ベネズエラの商業、投資、開発協力の機会の最大化に関し、会合を実施した。

（メ）　１６日、ベネズエラ政府は、外務省声明を通じて、カーボベルデにおいて拘留されていたアレックス・サーブ被告の米国への身柄引渡しに対する非難を表明した。

（モ）　１８日、ベネズエラ政府は、外務省声明を通じて、アレックス・サーブ被告の米国への身柄引渡しに関するプライス米国務省報道官の声明に対する拒絶を表明した。

（ヤ）　１８日、全国選挙評議会（ＣＮＥ）は、プレスリリースを通じて、ＥＵ選挙監視団に関するボレルＥＵ上級代表の発言に起因した難局が克服された旨報じた。

（ユ）　１８日、ペニャ中南米担当外務次官は、ピメンタ・ブラジル労働者党のベネズエラへの公式訪問の機会を捉え、両国の内政及び二国間関係のレビューに関し、会合を実施した。

（ヨ）　１９日、マドゥーロ大統領は、ルセナ元ＣＮＥ委員長を大学教育大臣に、アルバレス氏を国内商務大臣に、また、トロンピス前大学教育大臣を、駐ボリビア・ベネズエラ大使に任命する旨発表した。

（ラ）　１９日、ペニャ中南米担当外務次官は、ラミレス駐ベネズエラ・ウルグアイ臨時代理大使と、両国の内政のレビュー及び両国の関心事項に関し、会合を実施した。

（リ）　１９日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、Bitar 駐ベネズエラ・シリア大使と、両国国民の深い兄妹愛及び両国における外国投資の強化を目的とした協力に関し、会合を実施した。

（ル）　２０日、ベネズエラは、同日付書簡を通じて、コロンビアに居住するベネズエラ人に対する基本的人権の体系的且つ意図的な侵害に関する調査に対するバチェレ国連人権高等弁務官の積極的な参加を要請した。

（レ）　２０日、マドゥーロ大統領は、コロンビア議会とベネズエラ国会による二国間の政治、外交、経済、商業的関係の正常化に向けたイニシアチブに祝意を表明した。なお、２１日、体制側国会は、二国間の外交及び商業関係の正常化に向けた合同委員会を設立した。

（ロ）　２１日、ベネズエラ政府は、外務省声明を通じて、ブリンケン米国務長官のコロンビア訪問が、ベネズエラ国民及びベネズエラの民主的組織に対する攻撃という持続的な戦略を構成するものであるとして非難した。

（ワ）　２１日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、Singh 駐ベネズエラ・インド大使と、二国間協力のアジェンダのレビューに関し、会合を実施した。

（ヲ）　２４日、モリーナ多国間担当外務次官は、マイケティア国際空港に到着した Abubacar Mamadbhay 国連児童基金（ＵＮＩＣＥＦ）新ベネズエラ常駐代表を歓迎し、同新常駐代表と、ＵＮＩＣＥＦとベネズエラの協力における優先事項及びコミットメントのレビューに関し、会合を実施した。

（ン）　２５日、モリーナ多国間問題担当外務次官は、国連創設７６周年会合にテレビ電話方式で参加し、ベネズエラ政府の国連憲章の擁護、並びに、持続可能な開発目標に対するコミットメントを再確認した。

（ア）　２５日、検察庁は、コミュニケを通じて、数日後に予定されているカーン国際刑事裁判所（ＩＣＣ）検察官のベネズエラ訪問を歓迎した。

（イ）　２７日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、ベネズエラ政府のインドとベネズエラの協力関係の強化に対する意志を再確認した。

（ウ）　２７日、リ・カウシ・カリブ地域担当外務次官は、エンダラ・ラテンアメリカ経済機構（ＳＥＬＡ）事務局長と、同機構との協力関係の強化に関し、会合を実施した。

（エ）　２８日、モリーナ多国間問題担当外務次官は、Llorenti 米州ボリバル同盟人民貿易協定（ＡＬＢＡ－ＴＣＰ）事務局長と、ＡＬＢＡ―ＴＣＰにおけるベネズエラのワーキングアジェンダのレビューに関し、会合を実施した。

（オ）　２９日、ロドリゲス欧州担当外務次官は、トルコ建国９８周年に祝意を表名するとともに、トルコとベネズエラの兄弟愛の繋がりを再確認した。

（カ）　２９日、マドゥーロ大統領は、離任する Ghaouti 駐ベネズエラ・アルジェリア大使に対し、叙勲を授けた。

（キ）　３０日、９４名のベネズエラ人が、祖国帰還計画（Plan Vuelta a la Patria）を通じて、エクアドルからベネズエラに帰還した。

（ク）　３１日、プラセンシア外相は、３日間かけてベネズエラの関係当局と会合を実施する目的で当地を訪問したカーンＩＣＣ検察官をマイケティア国際空港にて歓迎した。

（了）